

日遊協 仙台共生の森

ていねいに840本 深谷会長以下62人が植林

◀(上)無事に育つように心を込めて植える
(下)植林前に参加者で記念撮影



東日本大震災の津波で被災した海岸防災林を再生させる一環として、日遊協は5月17日、仙台市若林区荒浜地区で「日遊協 仙台共生の森」としてクロマツ770本、ヤマザクラ70本を植林した。深谷会長以下理事6人、社会貢献・環境対策委員会メンバー13人、東北支部ボランティア隊14人、東京都・関東支部同15人、九州支部同3人、本部事務局等6人、植林指導の埼玉県森林サポーター5人の計62人が参加した。



会貢献・地球環境整備活動として同プロジェクトに応じ、去る2月に仙台森林管理所と協定を締結した。日遊協に割り当てられた区画は0・16ヘクタール。近くに別の団体による植林済みの区画も見られた。

海岸防災林の被災は青森県から千葉県にかけて約140kmとされている。林野庁は「みどりのきずな」再生プロジェクトとして植林を計画、NPOや団体・企業に活動参加を呼びかけた。日遊協は2008年から埼玉県嵐山町で進めている里山造成10年計画「共生の森」が植林を終えて整備期間に入ったことから、新たな社



ヤマザクラの記念植樹をする(右から)大塚理事、深谷会長、谷口東北支部長、平岡社会貢献・環境対策委員会委員、松谷北海道支部長

前日の16日は下準備作業で、社会貢献・環境対策委員会メンバー、東北、東京都・関東両支部ボランティア隊、埼玉県森林サポーターら計32人が植穴掘り、苗木や堆肥の準備、標柱の設置等をほぼ半日かけて行った。

被災者に思いを馳せ

17日は深谷会長以下全員が午前10時前に大型バスなどに分乗して現地集合し、開会式が行われた。深谷会長は「大震災直後から昨年暮れまで、日遊協は被災地にボランティア隊を派遣した。やっと今日植林できることになって感無量だ。被災者に思いを馳せ、やがて緑の森になるように心を込めて1本1本植えよう」と挨拶した。

がっちり踏み固めて

標柱と横断幕の前で記念撮影の

後、作業開始。参加者はクロマツ担当4班、ヤマザクラ担当1班に分かれ、約2m間隔で規則的に掘られた深さ30cmの穴に苗を置き、肥料を混ぜた土をかけて踏み固め、風で倒れないように竹の支柱にひもで固定した。森林サポーターが「力を込めてがっちり踏み固めてください。ゆるいと風に倒されるよ」とコーチしてまわった。最後に苗の周りに肥料をやり、その上に雑草を防ぐためのチップを敷いた。好天に恵まれた上、人海戦術のおかげもあって、昼ごろにはクロマツ、ヤマザクラ計840本をすべて植え終えた。参加者たちは整然と植えられた植栽地をながめながら用意された弁当を食べ、解散した。

付近は、元は住宅地だったが津波で壊滅した。残った建物はごく少数で、コンクリート土台の残骸が随所に広がり、3・11の惨状を改めて思い起こさせた。

深谷会長以外の理事の参加者は次の通り。(敬称略)

- 大饗裕記、白石良二(日遊協ボランティア派遣隊総隊長)、谷口久徳(東北支部長)、知念安光(社会貢献・環境対策委員会担当)、松谷明良(北海道支部長)

「仙台共生の森」第2回植林

クロマツを777本

北海道からも参加し65人で

東日本大震災の津波で被災した海岸防災林を再生させる「緑のきずな再生事業仙台共生の森」の一環として、日遊協は5月16日、仙台空港東側の宮城県名取市下増田字台林国有林0・17ヘクタールでクロマツ777本を植林した。参加者は谷口久徳副会長（東北支部



◀「丈夫に育ってくれよ」と祈りながら

長）、松谷明良（北海道支部長）、知念安光（社会貢献・環境対策委員会担当理事）、白石良二（日遊協ボランティア総隊長）の3理事、社会貢献・環境対策委員会メンバー11人、東京都・関東支部ボランティア隊25人、東北支部同14人、北海道支部同4人、植林指導の埼玉県緑化推進委員会と埼玉森林サポータークラブ5人、事務局2人の計65人。

根を広げて土をかけ揺すったり踏んだり

前日の15日に一部が現地入りし、植林の下準備を行った。広々とした平地に材木で組んだ柵が並べて置かれて植林場所を区分していた。当日の16日はJR仙台

駅に近い日遊協東北支部から大型バスなどに分乗して現地集合した。午前11時に開会式。谷口副会長、知念理事のあいさつの後、11時半に6班に分か

れて植林がスタートした。

まず、規則正しく測定された植林位置に長さ1mほどの目印の竹を刺し、苗木を置く。スコップやシャベルで竹のそばに30cm四方の穴を掘る。掘った土の一部を団子状に固めて穴の底に置き、その上に苗木の根を広げて置く。周りから土をかぶせて苗木を軽く上下に揺すり、最後に足で踏んで空気を抜く。

一連の手順の間、埼玉森林サポーターたちが、「あと少し深く掘ったほうがいいかな」「もつときつく踏み固めてください」などとコーチして回った。天候は曇り一時雨、のち晴れとまずまずで、作業は昼食をはさんで順調に進められ、午後4時前に終了した。

昨年の840本は順調に育っている

東日本大震災での海岸防災林の被災は青森県から千葉県にかけて約140kmとされている。林野庁は昨年、「『みどりのきずな』再生プロジェクト」として植林を計画、NPOや団体・企業に活動参加を呼びかけ

た。日遊協は2008年から埼玉県嵐山町で進めている里山造成10年計画「共生の森」が植林過程を終えて整備期間に入ったことから、新たな社会貢献・地球環境整備活動として同プロジェクトに応じ、昨年5月に仙台市若林区荒浜地区0・16ヘクタールにクロマツ770本、ヤマザクラ70本を植林、現在、順調に育っている。

JUNE

6月の行事予定

5日(木)	10:00~17:10	取扱主任者講習・試験(新規)(大阪ガーデンパレス)
	13:00~14:00	東京都・関東支部総会(ハイアットリージェンシー東京)
	14:30~17:10	第25回通常総会(第1回定時社員総会)(同)
	17:15~17:40	記者会見(同)
	17:50~19:30	懇親会(同)
6日(金)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(大阪ガーデンパレス)
	13:00~15:00	広報調査委員会
	15:30~17:30	人材育成委員会
	16:30~	貯玉補償基金社員総会・理事会(グランドアーク半蔵門)
13日(金)	15:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会
17日(火)	15:00~17:00	遊技機委員会
19日(木)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(博多サンヒルズホテル)
20日(金)	13:30~14:30	ゴト対策4団体会議(全日遊連)
23日(月)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(ベルサール神田)
	15:00~	中古機流通協議会(全商協)
25日(水)	13:30~	遊技機リサイクル推進委員会(日工組)
26日(木)	13:30~16:30	救命講習会
27日(金)	14:30~19:50	東北支部総会(パレスへいあん)